

令和 7 年度 地域共創インフラツアー 対象テーマと予約枠

ツアーテーマ		時期	予約枠数
函館編	～過去から現代までの歴史を巡る～ 時代と共に発展してきた「海洋都市函館」を見てみよう！	1 0 月	全 1 回

テーマの詳細、メニューリストは次ページ以降をご覧ください。

地域共創インフラツアー（函館編）

～過去から現代までの歴史を巡る～

時代と共に発展してきた「海洋都市函館」を見てみよう！



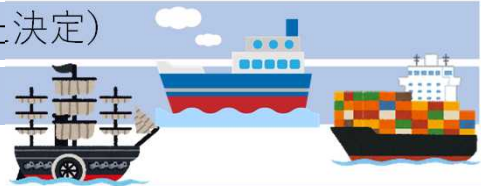
インフラツーリズムほっかいどう

- ◆古くから本州との交易拠点として長い歴史を持つ函館には、道南圏の物資流通や経済活動を支えてきた海洋交流の拠点であることを示す魅力的な地域遺産が今も数多く残されています。
- ◆その一方、現在函館駅や主要観光地に隣接する若松地区クルーズ船岸壁の改良工事が完成し、観光消費とクルーズ船寄港数の更なる増加が期待されているところです。
- ◆本ツアーでは、函館の海洋交流に関係する地域遺産や改良工事が完成したクルーズ船岸壁の見学を通して、海洋都市函館の歴史と「いま」を学びます。

予 約 枠 10月下旬の平日1回（日程は調整の上決定）

ツアー定員 20名

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。



📌 ここがポイント！

- ☆港湾防衛のため建設された全国でも珍しい大規模な軍事土木遺産である函館山の旧軍事要塞のなかでも、普段立ち入ることのできない「御殿山第一砲台」などの内部を見学できます。
- ☆市立函館博物館学芸員の展示解説により、函館の歴史の流れを学ぶことができます。
- ☆江戸時代の豪商高田屋嘉兵衛ゆかりの地を解説付きで巡ることができます。
- ☆北海道最初期の港湾コンクリート構造物である土木学会選奨土木遺産「船入瀬防波堤」の見学で、当時の技術力の高さを実感することができます。
- ☆元青函連絡船船員の解説により、青函連絡船記念館摩周丸の内部を見学することができます。
- ☆普段近づくことができない制限区域内でクルーズ船の迫力と改良岸壁の技術力を体感できます。

メニューリスト

ツアーを企画する際は、以下「メニューリスト」のうち☆印は必須ですが、その他グルメ、観光スポットなど任意で行程に組み入れて頂けます。【 】は所要時間の目安です。

① 御殿山第一砲台・第二砲台（旧函館軍事要塞）（☆）【60分】

旧陸軍が港湾防衛のため函館山に建設した軍事施設の砲台跡を見学

② 市立函館博物館（☆）【50分】

国指定重要文化財（中世遺構出土銭）や歴史常設展「はこだての歩み」を見学

③ 高田屋嘉兵衛ゆかりの地（☆）【40分】

函館を有名にした豪商高田屋嘉兵衛ゆかりの地を見学

④ 函館漁港 船入瀬防波堤（☆）【20分】

北海道における港湾修築の先駆的な構造物である石積防波堤を見学

⑤ 函館市青函連絡船記念館 摩周丸（☆）【45分】

青函連絡船廃止まで運航した「摩周丸」を活用した博物館船を見学

⑥ 若松地区 クルーズ船岸壁（☆）【45分】

函館駅や観光中心地に隣接する水深-10mに改良工事を行ったクルーズ船岸壁を見学

※見学施設はすべて解説付きです。 ※函館駅前発着の日帰りツアーをお勧めします。

○見学可能な施設



国土地理院地図



函館市青函連絡船記念館
摩周丸



若松地区 クルーズ船岸壁

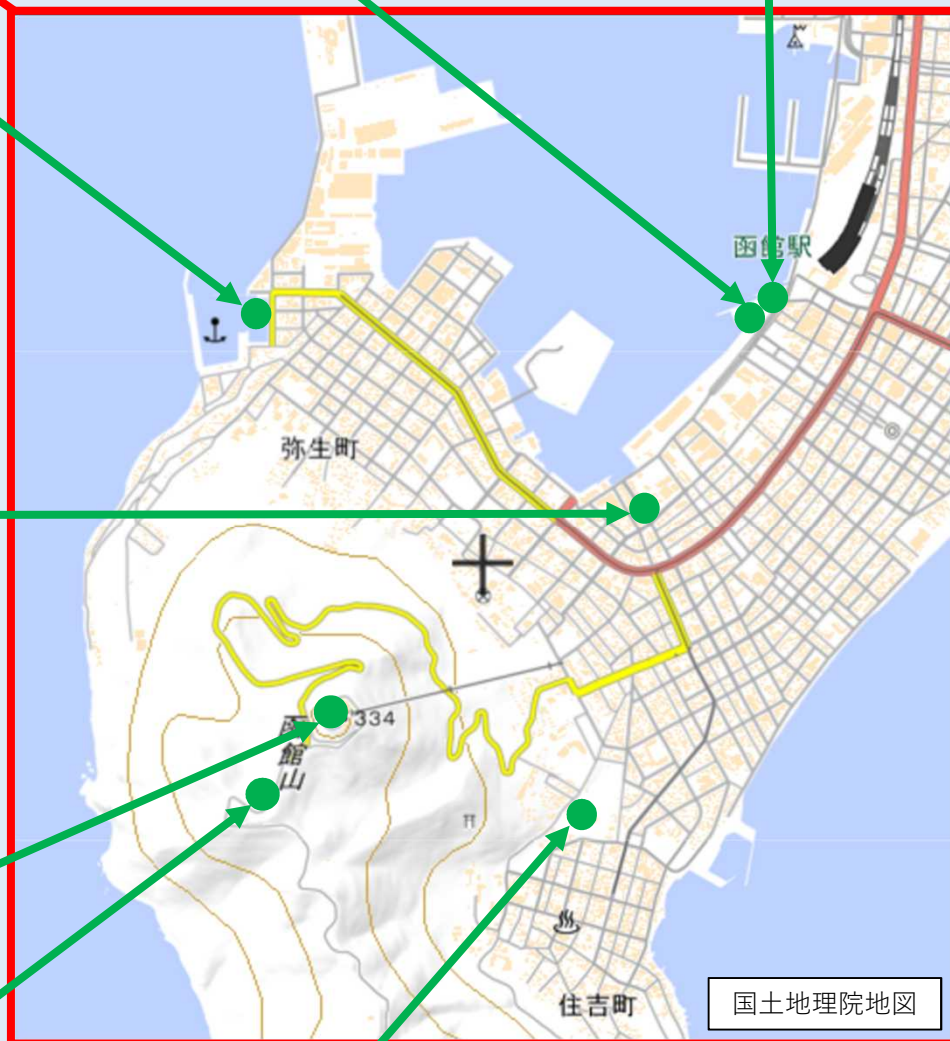
函館漁港 船入潤防波堤



箱館高田屋嘉兵衛資料館



御殿山第一砲台・第二砲台
(旧函館軍事要塞)



国土地理院地図

市立函館博物館（函館公園内）

